

守山まるごと活性化 議事要旨

作成日: 2018/09/10

作成者: 山本

会議名: (臨時)ふるさとづくり委員会グループリーダー会議

日時: 平成30年9月5日(水)

場所: 速野会館小会議室

出席者: 山本光男、岡本善広、馬場敏明、山田良彦、西村實、奥村正綱、宮川美紀子、伊藤潔(8名)

出席者(行政): 速野会館 赤井館長、山本 地域振興課 大崎専門員、高山主任
地域未来研究所(1名)

議題

守山まるごと活性化の取組みについて、速野学区まるごと活性化の取組み状況について、次年度の事業計画および予算について

会議要旨

内容

1. 開会

2. 学区長あいさつ

3. 委員長あいさつ

4. 検討事項

(1) 守山まるごと活性化の取組みについて(地域振興・交通政策課)

- ・まるごと活性化事業の取組みについて
- ・次期(H31~35)まるごと活性化推進交付金の概要について
基本的には現在のまるごと活性化推進交付金制度の概要を引き続き継続する。
活動組織はまるごと活性化委員会でも、他の学区組織でも構わない。(計画の位置づけを明確に)
プロジェクトは従前のままでもよいし、集約・再編はOK。
1万円を超える備品購入、県外への視察研修は対象外。
収入の確保に努める。
経費はあくまでまるごととの取組みが対象。他の組織(まちづくり等)とは費用案分。
- ・速野学区まるごと活性化の取組みについて

(2) 速野学区のまるごと活性化の取組み状況について

- ・各プロジェクトの進捗状況について(各プロジェクトリーダーより活動報告)

(3) 次年度以降の事業計画について

- ・Aプロジェクト→サイクリングイベントはリピーターも増え、協力体制基板もできているため継続したい。
ポケットパークも引き続き維持管理を継続予定。
湖岸振興会とはスタッフ協力を通して連携を継続予定。
サイクリングチームは、「ママチャリクラブ」を結成し活動を計画。
SNS(フェイスブック)は現在200名程度の閲覧数があり、継続予定。
- ・Cプロジェクト→ノルディックはやのについては、独立できる体制を整えているが。
おでかけノルディック等のイベントについても継続予定。
四季桜関連については森づくりセンターへ活動主体を移行したい。
森づくりサポーター活動についても独立体制は整えたが。
情報交換会については学区、守山市、県での体制を拡大して継続予定。
- ・Dプロジェクト→夏休み自由研究室やウッドデッキ活用イベント(星空観察や竹灯籠)を継続。

(4) 質疑・意見について

- ・市と学区で認識の相違がある。学区は5年間のプロジェクトとして動いてきた。
- ・5年経過すれば地域事情も異なってくる。各プロジェクト内容も変更して当然ではないか。
- ・もう少し行政側から取組み内容の方向性を示してほしい。→市からどれをしてくださいとは言えない。

次回 グループリーダー会議 10月2日(火)19:30~
ふるさとづくり委員会 10月23日(火)19:30~

決定事項

まるごと活性化事業の取組みについて

次回以降について